

令和元年度第2回  
柏市立図書館協議会  
グループワークまとめ

柏市立図書館

# Aグループ意見集約

(Aグループメンバー)

三浦会長, 加藤委員, 大野委員, 羽村委員, 宮島委員, 増山委員

ピンク付箋・・・情報提供からの気づき

黄色付箋・・・自身の意見

## スペース

## 情報発信

新規事業  
(アウトリー  
チ型)

## 新規事業(その他)

拠点づくり(空き家)の中でイベントや発想が広がっていくことができる。

プレハブ書庫棟をまるごとリニューアル

情報発信  
マスコミの有効活用

地域資源＝地域課題を知ろう⇒フィールドワークと学び

体験

司書さんが質問に答えてくれる(生協の白石さんみたいな)質問コーナー

柏地区  
と  
柏の葉地区  
と  
他の地区

空き家  
「そごう活用」

マスコミの活用

街中展示

単にサイエンスという科学中心ではなく農業、自然との発見が内容の充実につながる

協議会をラフにした「運営カイギ」みたいなゆるい組織でみんなの自分ゴトに

ピンチはチャンス！！  
小さな図書館だからできることを見つけよう

書庫若しくは交流スペースとして古・空き家活用

情報の発信方法の整理、編集を  
(SNSの取捨選択)  
エッジの効いた発信を

「パレット柏」の一角(棚)を年間借用して図書館のPRコーナーを作る

子供中心ではなく大人(親)を巻き込むことで事業の拡大につながる

書架がいっぱい  
⇒電子書籍導入できない？

「みんなで作るイベントスペース」がほしい  
ストーリー性不可欠

中央図書館  
南部図書館  
北部図書館  
分割化

HPを作りかえては？  
(ランディングページだけでも)

死蔵状態の本を街なかに出して活用しては？

図書館に興味が高い層へのアプローチ

ユニバーサルデザイン対応⇒3Dプリンタ、点描装置などのクリエイティブスペース作っては？

車庫を「夜の」イベントスペースに  
セキュリティコスト低  
勝手にお酒持ち寄りしたい

展示物の巡回とアーカイブ  
⇒ネットからも見られるように

タッチポイント

情報(図書)  
↓ ↑  
体験(WS)  
相互にやり取り

## 新規事業 (その他)

## つながり・連携

## 課題解決

## その他

ネット予約者への配達  
(世帯単位)

図書館コミュニケーター  
(プロデューサー)による  
デザイン⇒市民とつ  
なぐ

柏で行っているアート音  
楽とのコラボができるの  
ではないか

課題の可視化

楽しそうから  
↓  
楽しいへ

国の補助事業(文化庁,  
環境省等)を活用する

地域とのコミュニケー  
ション  
◎身近な場所=図書館

社会課題を可視化  
↓  
地域資源の付加価値  
向上へ

ストーリー性

図書館もビジネス的感  
覚を

自立した市民  
年齢・性別に偏りが生  
まれる?  
→市民性教育

優先順位の把握

Professional  
×  
遊び心

プロの話が聞ける場所  
(ライブラリーカフェを参  
考に)

オープンテラスは常設  
すべき!  
→コミュニケーションか  
ら生まれる学び

図書(本)への興味を広  
げていこう!

「図書・情報」と「社会・  
市民」の架け橋たらん

# Bグループ意見集約

(Bグループメンバー)

松清副会長, 笹間委員, 窪田委員, 上野委員, 菅原委員, 丹間委員, 田中委員

ピンク付箋・・・情報提供からの気づき

黄色付箋・・・自身の意見

## スペース

## 情報発信

新規事業  
(アウトリー  
チ型)新規事業  
(分館活用  
型)新規事業  
(その他)

空室アパートなどの利用は今後多く利用し活用できれば  
・昆虫カフェ  
・天体カフェ

広報に本や作家の紹介を出す

旅に出たり体験型のイベントの企画は興味を持ちやすいと思う

本館・分館で蔵書の特徴を出しては？

科学実験, 科学体験学習で得た事を発表展示などで地域の人に知らせてもらう  
子どもたちも達成感!

休館利用は科学の他に何ができる？

あちこちにちよこつと分館

まずは、発信していくというのは大事

低関与者向けのタッチポイント  
展示  
カフェに本棚

地域の特徴を生かす

「科学」って身近なこと, 問題を可視化・単純化してもらおうと入りやすく自分のレベルで考えられる

専門家と会えるイベント楽しそう(本でもできそう)

館外の地域にもまちなか書架を置く  
(例) カフェ, お寺, ショップ, 駅, バス停  
(Cf) 岐阜市立図書館まちなかライブラリー

本の価値を高めてどう発信していくのか(ただイベントを行うだけではない方法で)

読書好きな子どもを育てる(未来の市民として)  
読書(本)の修学旅行

分館は近隣センターに併設されているので, 共用スペースを使ってイベント

子どもから大人まで一緒に学べる場  
実践的な科学は良いと思う

参考資料室をもう少し有効活用しては？

ポップにとどまらずネット(SNS)で配信

アウトリーチ型図書館

子どもだけでなく大人向けもあるのが良い

多様な切り口ヒントを可視化して興味をくすぐるテーマ

子どもへの職員体験など(体験する)

子ども向けイベント  
図書館は楽しいところという体験

## 新規事業 (その他)

## つながり・連携

## デザイン・ イメージ

## その他

児童書の帯コレは好評  
大人の本にも帯をつけ  
ては？  
一言おすすめ等

自前主義から協働主義  
へつながりやネットワー  
クに価値

図書館だけでは行わず  
他団体等と連携してい  
く

デザインすること

手作り科学館  
自分たちの力で改修す  
る過程も面白い

例えばラグビー展  
ラグビー関係に追加し  
てニュージーランドの国  
や文化等の紹介もして  
いければ

持たないことは他者・他  
組織との結びつきが生  
まれる  
むしろメリットにも

他事業との積極的な連  
携

科学コミュニケーターの  
役割がデザイン  
スタートのデザインは大  
切だと思う

Exedra井戸端会議とい  
うネーミング素敵です。  
そこから生きた声がき  
ける

人との交流がさらなる  
交流と広がりにつな  
がっていく交流の場づく  
り(きっかけやトリガー  
を伴う)大切

コラボレーション  
その他の専門家と

「図書館に行く」から「図  
書館をする」  
位のイメージへ

日常と非日常を重ねて  
みると面白い  
例) 駅前で望遠鏡, 焼き  
鳥を食べながら鳥類の  
生体理解

いろいろな人と手を組  
んで協働する

交流の場作り  
交流の時間作り

「図書館」と市民が聞い  
たとき, あの施設ではな  
く本を使って何か色々  
やっている取り組みの  
ことをイメージできるよ  
うに!

生涯学習は様々な分野  
とミックスされていく